

(2006年9月28日)

○岡部さんは、長岡では数少ない地元出身の完成品メーカーです。自社ブランドも持ちます。昭和39年(1964年)、「ミグ」シリーズ1号機(MG1200型)として円筒研削盤の発売を開始しました。

ブランドは、「ミグ」です。「ミグ」とは、MICRON(ミクロン)千分の1(ミリ)とGRINDER(研削盤)の頭文字を採用した造語です。「ミグ」には、ミクロン単位の精度を確保できる



—シリーズ第9回—

### 株式会社丸栄機械製作所

て、加工対象物である金属やセラミックを削る工作機械です。

バイトやフライスなどで削れないような堅い材料の加工に使われます

## 【3】技術、アイデアが良いもので同時に低価格を実現

たとえば、円筒研削盤は、円筒形の加工対象物の外周を研削しながらミクロン単位の精度をだします。また内面研削盤は、円形の穴の内面を研

削しながら穴の内面が正確な円であるようにミクロン単位で加工します。このような精緻な加工ができる円筒研削盤や内

面研削盤の製造が、「丸栄機械製作所」の得意技です。

○部品メーカーにとって工作機械は不可欠です。築きました。

が、それだけではありません。普通の堅さの材料に対しても、旋盤やフライス盤で前加工した後に最終的に仕上げます。

削しながら穴の内面が正確な円であるようにミクロン単位で加工します。このような精緻な加工が、ユーザーからの注文に応じて、ミクロン単位の精度を作り出すためには、優秀な工作機械が必要で、完成品メーカーの役割は重要なものです。

しかし、長岡の製造業は、部品の製造に特化しているケースが多く、このため製品のレベルが高いにも関わらず、価格決定に極が相対的に低いという課題を残しています。

そのようななかで当社は、数少ない完成品メーカーとして盤石の地位を築きました。

企業PROFILE

住所 千940-2022 長岡市鉄工町2-3-54

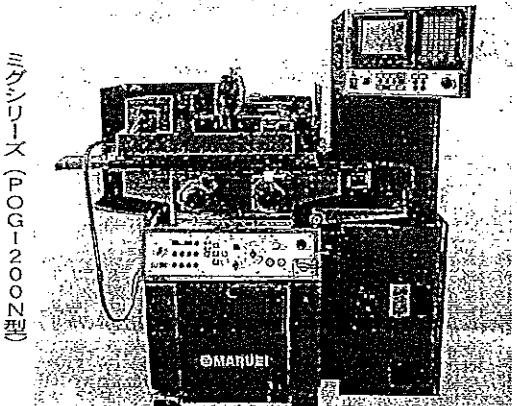
資本金 5000万円

従業員数 40人

岡部 福松社長

【事業の内容】

円筒研削盤、内面研削盤を中心とした高精度、高能率工作機械並びに特殊加工専用機の製造販売。超小型から中型、大型機種まで幅広く対応。



ミグシリーズ(PG1200N型)

○研削盤は、燕市など関東地区で盛んな「研削」とは全く異なる世界です。金属製品の最終工程としての「磨き」ではなく、金属の固まりを削りながら、仕様通りの形状や精度を削り出す機械です。これにより、さらに精度の高い製品にすることができます。

社長の岡部さんは、専務時代から「技術、アイデアで良いものは高い」という常識を覆して低価格を実現」を目指しています。

○早い時期から「精度

今では製品群は、小型精密円筒研削盤、小型精密内面研削盤、カム研削盤、ゴムロール専用研削盤、注射針専用研削盤、多軸切断機、センタレス研削盤、各種CNC研削盤など多岐に及んでいます。(つづく)

《シリーズ全5回・毎週木曜日連載》

◎長岡新聞社編集顧問 新潟県経済雇用問題研究所理事 松田宣治

に対する探求がありました。そのような高い志が、現在の「ミグ」シリーズに結実しています。

「ミグ」シリーズは、円筒部分の研削では、1ミクロン以内の誤差で真円に加工します。この高度な技術は、注射針の先をとがらす加工や自動車の噴射ノズルの加工などにも応用が可能です。